

短歌最優秀賞に佐藤さん(船山橋高)

全国高校生韻文コンテスト



「全国高校生ケータイ韻文コンテスト」の受賞者ら
＝流山市駒木の江戸川大学

「全国高校生韻文コンテスト」の表彰式が、流山市駒木の江戸川大学で行われた。同大学の主催で千葉日報社が後援。短歌2960首、俳句1756句、川柳2581句の計7297件の応募があった。

高度情報化社会に生きる現代の高校生が、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使い、心の奥底から湧き上がる感動を韻文(短歌、俳句、川柳)で表現してもらおうと応募を呼び掛けた。

また、高校生たちが①地域社会②自校の生徒や保護者③将来の高校生となる中学生や保

護者らに、自分の高校の魅力を伝えるためのキャッチフレーズコンテストも行われた。受賞者・作品は次の通り。(敬称略)

◆韻文コンテスト

【個人賞・短歌部門】

▽最優秀賞Ⅱ「新しい服を着て歩く街並みは表情変わり少しきらめく」(佐藤美有季・県立船橋芝山高校)

▽優秀賞Ⅱ「風鈴の音色は心を和ませて軒下に風ゆっくり流る」(瀧澤真夏・長野県穂高商業高校)

【同・俳句部門】

▽最優秀賞Ⅱ「君の横時が止まった線香花火」(城戸みなみ・北海道東川高校)

▽優秀賞Ⅱ「夏祭り地震に負けない地元力」(西村飛鳥・熊本県立熊本工業高校)、「夏休みナイトプールでガチ泳ぎ」(宇田川暖・東京都立蔵前工業高校)

【同・川柳部門】

▽最優秀賞Ⅱ「弟と同じ部屋でもLINEする」(大北沙耶・静岡県立伊東高)

▽優秀賞Ⅱ「おはようと家族に言うところには」(廣野真彩・北海道東川高校)、「授業より頭に残る無駄話」(古川聖来・八戸工業大学第一高校)

【団体】

▽最優秀賞Ⅱ長野県穂高商業高校▽優秀賞Ⅱ東京都立蔵前工業高校▽千葉日報社賞Ⅱ県立船橋芝山高校

◆キャッチフレーズコンテスト

【個人】

▽最優秀賞Ⅱ「坂の角度、θⅡπ/6。仲間と共に解を求め、目指すはナンバーワン、ゆえに第一。」(白谷翔・宮崎第一高校)

▽優秀賞Ⅱ「真っ赤な校舎で、真っ赤な青春。炎の様に熱く、太陽の様にまぶしい生活が待っている。」(吉田侑希・北海道石狩南高等学校)

【団体】

▽最優秀賞Ⅱ宮崎第一高校▽優秀賞Ⅱ長崎県立長崎明誠高校